

沖縄県がシンガポールで盛大なプロモーションを実施

シンガポール事務所

1. 初開催の沖縄単独観光プロモーション

1月26日(土)、ヨットハーバーが目の前に広がる Marina at Keppel Bay で「沖縄スペシャル ナイト」と銘打ち、沖縄観光プロモーションが実施されました。財団法人沖縄観光コンベンションビューローが主催され、シンガポールにおける訪日旅行関係者等を招待してのレセプションに参加しましたのでその様子を報告します。

沖縄は、これまでシンガポールでの国際旅行フェア(以下、NATAS)へは出展されていましたが、当地で訪日旅行セミナー等を開催されたことはなく、今回が初めての独自の観光プロモーションとのことです。日本では人気観光地の沖縄ですが、海外からの観光客数は全体の5%程度である上に、日本の他地域ほど知名度もなく、シンガポールにおいて沖縄の魅力が十分に伝わっているとは言えません。そのため、日本国内観光客数が頭打ちとなる中、今後は経済成長の著しい東南アジア地域でのプロモーションを充実させていく方針とのことです。



プレゼンテーションの様子

プレゼンテーションの中では、沖縄の海をはじめとした沖縄のスローライフ、体験プログラムといった多彩な魅力が紹介されました。まずは、沖縄の知名度を上げ、アジアの他のビーチリゾートとは違った魅力を持つ新たな訪問先として沖縄を選んでいただけるように今回のプロモーションが契機になることを願っているとのことです。

また、招待客への沖縄観光プロモーションとは別に現地旅行会社向けのセミナー及び商談会が別会場にて同時に開催されていきました。商談会ではシンガポール側旅行関係会社の参加者の皆さんが、相談の順番が回ってくるのを待つほど熱心な商談会が行われたようです。

2. シンガポールで沖縄を体感

プレゼンテーションに引き続いて、沖縄の民族舞踊である「エイサー」が披露されるとともに、ブッフエスタイルの食事会が開催されました。シンガポールで沖縄料理を提供するレストランのスタッフが協力されており、沖縄料理を代表する泡盛、海ぶどう、タコライスといった沖縄料理が饗され、沖縄の食の魅力が存分に披露されました。人気のあまり長蛇の列ができた料理や出される



迫力あるエイサー披露

端からなくなるメニューもありました。

その他、食事会の中で沖縄芸能の披露、民族衣装をまとった女性の登場による写真撮影などで会場は大いに盛り上がり、沖縄の温かなおもてなしと、魅力をそのままシンガポールに体現した一夜となりました。



レセプションで沖縄の豊かな食を紹介

3. シンガポール随一のショッピングエリアに沖縄出現！

沖縄の観光プロモーションの開催と同時に、オーチャードロードに沖縄の古民家が出現しました。オーチャードロードはシンガポール随一のショッピングエリアであり、有名百貨店、ブランド店が軒を連ね、近隣諸国をはじめとした世界中からの観光客、買い物客が集まります。

シンガポール政府観光局（STB）と日本政府観光局（以下、JNTO）の協力を得て、行われたプロモーションですが、日本の一地方がオーチャードロードで観光プロモーションを行うのは初めてのことです。このプロモーションは NATAS 終了までの約 1 か月間続きます。多くの人目に沖縄が目につくことで、次回の NATAS 開催時には沖縄に関心を持つ来場者が増えるのではないかと考えられます。



オーチャードロードに出現した沖縄の古民家



3Dアートで記念撮影

4. シンガポールからの訪日旅行者数の回復に向けて

JNTO シンガポール事務所によると、シンガポールから日本への 2012 年 12 月単月での訪問者は 27,400 人、2010 年同月比で 25.6%減となっており、いまだに 2010

年の水準には戻っていません。また、通年の訪日者数としても、韓国や欧州の減少率を上回り、JNTO18 市場の中ではワーストです。

日本の中では人気のある観光地である沖縄。現在、直行便はありませんが、日系旅行会社のツアー造成により、シンガポールから 3 月に 1 便、チャーター便で 4 泊 6 日のツアーが開催される予定とのことです。こうした大規模な観光プロモーションには、一挙に沖縄、ひいては日本を盛り上げる勢いがあります。日本の食や長寿、豊かな暮らしといった魅力を PR することで新たな訪日旅行への需要の掘り起こしが進み、当地からの訪日旅行者数の回復へと繋がることを願います。

(原田所長補佐 山口県山口市派遣)

